

東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム成果報告会が開催されました 北陸新幹線小浜・京都ルート早期全線開業PRポスターを制作しました

3月16日、オンラインで東京大学の学生や小浜市内の参加者を結ぶ形で、東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラム成果報告会が開催されました。



小浜市役所の会場で学生の報告を視聴する参加者

このプログラムでは、東京大学の学生が小浜市内での現地調査を行った上で、新まちづくり構想で掲げる「スマート&スローシティ」の先端技術を、具体的にどのようにまちづくりに取り入れていくのかや、新駅周辺エリアのまちづくりの可能性について、自由で柔軟な提案がなされました。

報告会では、ブロックチェーン技術を活用した分散型自律組織(DAO)による釣り人のコミュニティをまちづくりに活かす「小浜市Society5.3釣り人の町」や、観光・研究・漁業の3要素から養殖関連事業の聖地を目指す「養殖のまちプロジェクト」、小規模国際会議(サテライト会議)に焦点を合わせ会議拠点としてのまちづくりを目指す「北陸一の国際学会拠点づくり」の3つの提案とそれらを発信するための新駅周辺エリアの開発について学生から発表がありました。

北陸新幹線小浜・京都ルート全線開業PRポスターを制作しました。

昨夏に開催した「新幹線が小浜にやってきた 図画コンクール」でポスター賞に輝いた雲浜小学校6年の石田隼人さんの作品を採用しています。

今後、市内の公共施設や各区等で掲出を予定しています。



今回制作したポスター